

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年3月8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970500322
法人名	株式会社 いこいの里
事業所名	いこいの里 さくら貝
所在地	〒781-1161 高知県土佐市宇佐町宇佐汐浜2841
自己評価作成日	平成21年10月31日
評価結果市町村受理日	平成22年3月19日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970500322&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当ホームは、お年寄りが安心して、楽しく安らぎを感じる生活空間を提供することをテーマとしている複合型福祉施設の一つとして、窓辺に広がる海と山の自然に満ち溢れた環境の中で、安らぎに満ちた日々が過ごせるようスタッフ一同支援している。利用者は、お遍路接待や地域の行事等に参加し、地域住民とも馴染みの関係を築き、一人ひとりの楽しみ事に生きがいと喜びを感じながら暮らしており、今後も、人格の尊重や安心と安全を提供しながら信頼関係を築いていくよう心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は海と山に囲まれた自然の中で、ホテル跡を有効に活用し、法人のデイサービスセンターや有料老人ホームと併設されており、地域住民と共に支え合い信頼関係を築いていくこと理念に掲げ、地域の清掃活動や催しへの参加、保育所、小中学校等との交流、事業所広報誌の配布、四国八十八カ所巡礼のお遍路さんの接待など、地域の一員として地域に溶け込んでいる。また、利用者一人ひとりの習慣や好みに応じて、広い前庭の散策や周辺の散歩、近所の量販店での買い物、花見、ふるさと訪問、のど自慢鑑賞のほか、馴染みの居酒屋を利用するなど、個性のある細やかなサービスを提供している。また、3ユニットの各管理者が協力しあい、安心と安全を提供できるよう取り組んでおり、今後の更なる発展が期待できる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを目指したホーム理念、ユニット理念を作成し、始業前に読み上げ達成に向けて取り組んでいる。月1回のスタッフ会で取り組みの状況を話し合っている。	事業所独自の理念があり、各ユニットごとにも個別の理念を作成している。毎月のユニット会では、生活の継続支援と地域との関係性を重視した理念について話し合い、サービスの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域とのつながりを大切にし、地域の祭りや清掃活動のほか、小中高・保育園の行事に参加するとともに、ホームで行う行事、教室へ地域の方にも参加して頂いています。また、ホームの広報をスーパー、消防署、地区の回覧板で配布している。	町内会に加入し、総会や清掃活動に利用者と参加したり、地域のお祭り、小中高校・保育所行事に参加している。また、事業所便りを地域住民のほか、駐在所、消防署、病院、量販店に配布するなど、地域との関係づくりに努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や小中学校の職場体験受け入れ時に、認知症の症状や対応の仕方、考え方等を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回開催し、事業所の状況報告を行い、利用者、家族、地域の方から意見を聞き、話し合いの内容をスタッフ、利用者家族に伝え、改善の為に活かしている。	事業所から活動状況や評価結果と取り組みなどについて報告し、委員から意見等が出され、お遍路さん接待の提案を受けて春、秋に実施するなど運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>管理者が主に行っているが、市町村に相談事を伝えたり、逆に市町村の問い合わせ等にも答え、協力している。運営推進会議の時には伝えている。</p>	<p>制度上の疑問点、運営上困っていること等、その都度相談している。市から入居について相談を受け面接に行ったり、転倒で入院された利用者の経過を報告するなど、協力関係を深めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中、玄関は開錠している。身体拘束は行っていない。又、行わない。利用者の行動を制限していない。</p>	<p>身体拘束に関しては、月1回の内部研修テーマにとりあげ学習している。行動の制止など身体拘束をしないケアに取り組み、居室や日中玄関に鍵はかけていない。一人で外出したい利用者の習慣や傾向を把握し、外出時には声かけしたり付き添うなど対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する研修へ参加したり、虐待を発見した際は通報義務があることを職員に伝えている。ホーム内でも虐待につながる行為はない。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>理解している職員とそうでない職員職員がいる。必要な利用者には、福祉事務所や社会福祉協議会等へ相談している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、変更点がある場合は、その都度説明し、納得頂いた上でサイン等をして頂いている。質問等にも積極的に応じている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営会議、面接時などに意見を聞いている。1F玄関口にも意見箱を設置している。余り意見が無いのも現状である。	利用者の意見は生活の場面で聞きとるようにしている。家族の面会時や年2回の家族会の時は話しやすい雰囲気を作るなど努力はしているが、家族のみで話し合う機会は設けていない。	家族は身内が世話になっている思いから、事業所に意見を言い出し難いことを理解し、家族だけで話ができる機会を設けるなど、工夫することを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会時に意見を聞いたり提案を受ける機会がある。意見が反映されないこともある。	毎月のユニット会や日々の業務のなかで職員の意見や提案を聞いている。日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ、話しやすい雰囲気のなかで、業務の向上に職員同士が助け合うなどの提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者以外は時間給制である。皆 同額であり、熱意のある者とそうでない者との不公平感があり意欲の向上が損なわれている面がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内は回覧にてスタッフに見せている。個人の力量に合わせて参加している。報告書を作成、報告会も開いている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	各種研修会等にて他事業者と話し合ったり相談事等を意見交換したりする機会がある。頻度は少ないように思う。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご家族同伴又は介護者をお交え、ご本人の必要としていること事や要望などを面接時にゆっくり聞いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族として…又、介護者として困っている事や不安点など、ゆっくりと入居前から聞いて信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前に聞いた情報を参考にしながら必要な介護、本人の望むことをくみ取りケアに活かしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に食事を行ったり、利用者にスタッフが助けて頂いている面が多く見られる。介護しているという意識の考え方は、あまり見られない。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の面会を促したり、家族に電話をかけたり、家族としてできる事に協力してもらっている。外食や好きな物の差し入れも家族の方に協力頂いている方もいる。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人のふる里を訪ねたり、行きつけの理容室を現在も利用したり、夫や家族の所を訪ねたり、仕事仲間の所へ行ったり、関係が保たれる様に努めている。</p>	<p>利用者の状況に応じて1～3カ月毎にふるさとを訪問したり、行きつけの理容室や居酒屋に行っている利用者もいる。また、友人の面会を受けるなど、馴染みの人や場所との関係を継続するよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	言い争いをしたり大声で喧嘩をする時もあるが、良い面も互いに理解し生活している。一緒に歌ったり、かるたをしたり皆と一緒に楽しめる機会も作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても地域で会った時には挨拶を交わし、入院中は見舞いに行ったり相談事にも応じている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人を交えてのカンファレンスを行い、本人の希望や意向を聞いている。家族からの意見や情報をもとに検討している。	利用者の生活歴等を念頭に、日々の関わりの中で希望や意向を把握するように努めている。意思疎通が困難な方は表情等から希望を汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族構成や生活史などを収集し、本人の暮らし方を継続できるよう努めている。カンファレンス時には、ケアの経緯を話し合っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活の仕方、行っている事など、経緯・経過・状況・気づいた事など記録に残し把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	カンファレンス時に会スタッフと本人の意向を尊重しながら計画に反映させている。家族等には意向を毎回聞いている。	本人と家族に意見を聞き、スタッフ会で話し合いケアプランを作成している。達成可能なプランは1～2カ月の計画とし、基本的に3カ月毎に介護計画を見直している。状況変化が生じた場合はその都度見直しを行っている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の生活の様子、ケアプランの実施状況、気づいた事等記録に残し、モニタリング、カンファレンスの意見・情報として役立てている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	面会に来れない家族には利用者と共に訪れたり遠方でも受診対応したり、家族の実況に合わせ、可能な限り対応している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域にある図書館や地域の人や親しい人と会える機会を作ったり、お遍路さんの接待、お祭りに参加している。市町村の広報も取り寄せている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望の病院で受診している。専門医の対応も行っている。体調変化時、転倒時など医師と連絡をとり、受診・往診等行っている。</p>	<p>週に2回の協力医の往診のほか、本人、家族が希望する医療機関で受診している。受診結果は家族に連絡し、家族が対応した場合は報告を受け、看護日誌、業務日誌等に記載し情報を共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回の訪問看護を利用しており、その他の時間は24時間連絡が取れる体制となっている。体調面での心配事など気軽に連絡している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>ホームでの生活、注意点、配慮してほしい点などを病院側に伝えている。又、治療内容や退院に向けての連絡調整など家族と共に話し合い、円滑に病院、ホーム間の移動ができるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ホームでの対応できる範囲を入居時に説明し、そのような状況が近づいた場合は、家族・医師と相談し、可能な限り対応している。</p>	<p>重度化した場合の対応指針を作成しており、入居時に家族に説明し同意を得ている。看取りの経験はないが利用者や家族の思いを尊重した支援ができるよう、他の事業所の事例などを参考に、今後、さらに体制づくり等に取り組んでいく姿勢が窺われる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会スタッフが心肺蘇生法、AEDの使用方法を理解し、年1回は講習を受けている。月1回急変時の対応方法を訓練し、毎夜勤者は、対応方法を口頭で読み上げ理解した上で夜勤に入っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練、地震訓練、津波の訓練を定期的に行っている。地域の人々が火災訓練に参加したり、協力の依頼も行っている。	毎月の自主防火訓練、2カ月毎の地震避難訓練のほか、消防署の協力による年2回の消火訓練には、地域住民の参加も得ている。前回評価の課題であった非常時の食料等の準備をしているが、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルの3日分の目安からすると少ない。	非常用食料等の備蓄については、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルを参考に検討されることを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉づかいに特に気をつけるよう、スタッフの意識づけを強く行っている。トイレの声かけの仕方、入浴・トイレ時の配慮を特に気をつけている。	日頃のケアのなかで、利用者の人格とプライバシーを損なわない声かけをユニット会で徹底し、職員同士で注意し合いながら取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	おやつのお菓子を選んでもらったり食事の希望を聞いている。外食時には好きなものを選んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ケアプランに沿ってケアをしているが、プランにこだわり、その時の利用者の希望に柔軟に沿えてない時がある。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>入浴前に着る服を選んでもらったり、外出時には普段と違うお洒落をしている。行き付けの理容院を利用し、お洒落を楽しんでいる方もいる。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>その人に応じた役割があり、準備・調理を一緒に行い、献立も一緒に考える。スタッフも教わりながら食事を作る。食事中、会話も楽しみながら過ごしている。</p>	<p>近所のスーパーに利用者と一緒に買い物に行ったり、利用者の能力に応じて下準備、調理、片づけを職員と一緒にし、利用者と職員が食卓を囲み、会話をしながら楽しく食事をしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量を毎回確認している。食後、おやつ後、その他の時間にも水分を勧めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行っている。介助が必要な方には義歯の洗浄介助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を記録することにより、排尿間隔を把握し、トイレ訴え時はその都度、時間が空けば誘導し、トイレで排泄できるよう努めている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握してトイレ誘導するなど、排泄の自立に向けた支援を行っている。個々に応じた支援によって、立位困難な利用者が、昼間、オムツはずしができた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳を飲んで頂いたり、適度な運動をすることにより、出来るだけ自力で排便できるように努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日入れる様になっている。時間帯は朝～夕までとなっている。夜間入浴は出来ない。本人の希望する時間帯には浴っている。	入浴時間は午後に設定しているが、朝から夕方の希望する時間に入浴できるよう支援している。入浴拒否がある利用者には、職員が交代したり、時間をみて入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファで休息したり、居室で昼寝をしたり、夜の入眠も個人の好む時間に入床して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の服用している薬の内容や量、作用、副作用を理解している。変化があった時など、すぐ確認し、医師や看護師と相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	生活史や本人の得意な事により生活の場面で活かせる場を多く取り入れている。外出したり趣味を継続して続けられるようにしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	利用者の希望する場所へ外出している。家族や大切な人に逢いに行く機会も作っている。花見・紅葉・みかん狩り・コンサート・のど自慢などにも出掛けている。	天気の良い日は、広い庭に毎日散歩にでるよう支援している。季節の花見、紅葉、みかん狩りに行くほか、コンサート、のど自慢の鑑賞などに出かけている。また、行きつけの居酒屋に出かける利用者もいるなど一人ひとりの利用者が希望する場所へ外出できるよう支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	現金を持っている利用者は少ないが、預かっているお金で支払いをしてもらったりする事もある。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	家族から電話があれば、一緒に話したり、利用者から電話することもある。手紙のやり取りは少ないが、自分の想いを書いてもらい送る場合もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は利用者が使用しやすいよう、親しみやすい雰囲気となっている。不快な音や光はないよう配慮している。季節の花や装飾品を飾ったり、ベランダでは花を育てている。</p>	<p>居間には、ソファ、テーブル、椅子を配置し利用者がくつろげるよう配慮するとともに、クリスマスの飾りつけやポインセチア、ベランダのパンジーや干し柿など、季節感を採り入れ、各ユニット毎に、それぞれ特色のある居心地の良い空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファで利用者がくつろいだり廊下には畳やベンチを置き、休息できるようになっている。ベランダへも自由に出られるようにしている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時には、自宅で使っていたものを出来る限り持ち込んでもらっている。家族の写真や好きな人のポスターなども貼っている。</p>	<p>使い慣れたベッドやタンス、行李や鏡台が置かれ、畳を敷いている居室もある。また、家族の写真や好きな歌手のポスター、お孫さんが書いた書道を貼るなど、思い思いにくつろげるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、浴室には手すりを設置している。居室には本人が分かるよう表示し、お手洗いも大きく表示している。夜間はトイレの電気を常時つけ場所が分かるよう配慮している。</p>	/	/

V アウトカム項目		ユニット名： さんご	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域と支え合い、信頼関係を楽しく理念をかかげ、毎日朝夕の引き継ぎ時に理念を唱和している。又、月1回のスタッフ会では、反省会を行い、理念の共有・実践に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事、地域の保育園小中高校の行事に参加している。日常的に地域の量販店を利用している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2カ月1回の便りを地域に配布し、理解して頂けるよう努めている。小中学生の職場体験を受け入れ、理解や支援の方法を学習してもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、運営推進会議を開き報告や要望意見交換している。また会で出された要望意見は、実践に向け取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議には、地域包括支援センターの職員にも参加して頂き、意見を聞かせて頂いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアを行っているが、スタッフ全員が拘束となる行為について正しく理解しているとはいえない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についての研修に参加し、努めているが、言葉による虐待となることが全くないとは言えない。スタッフ同志気づいた時には注意し合っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員全員が制度を理解しているとは言えない。それらの活用のアプローチは家族、管理者が行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に十分時間をかけ説明し、質問や疑問点をお聞きし、理解納得して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議、家族会で意見要望を聞くようにしている。日常的では面会時にお聞きするようにしている。また、意見箱を一階ホールに設置しているが、家族からの要望はあまり出てこない。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のスタッフ会で意見を聞いているが、内容により反映されることとできないことがある。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職場環境、条件についての要望は聞き入れられないこともある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている</p>	外部の講演会や研修会の機会は設けている。また、ホーム内研修も月1回行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	研修会等の時に交流の機会はあるが、相互訪問等の活動は行っていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入所前の状態の情報収集をしたり、本人の話をよく聞き、本人の不安の軽減に努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族の要望をよく聞き、必要に応じ電話連絡している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族からの意向を聞き、できる範囲での対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日常の色々な場面で本人の意見を尊重しながら、スタッフと利用者が共に行えるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>事業所行事への参加や、面会時に家族と一緒に外出したり外食されたりしている。しかし家族によっては面会も遠のき、十分に関係が築いていないところもある。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ふる里訪問等で支援している。今までの友人が面会に来やすいようにしたり、一緒に外出できるようにしている。しかし、状況により個人差がある。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う人と一緒に過ごせるように配慮している。また、それぞれの利用者の性格等を考慮しながら、利用者同志の交流が円滑に行うよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、地域内で顔を合わせた時は様子を伺っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意見を聞く機会を作り、要望を聞いている。十分でない場合、スタッフ会で検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを行い、個々の理解を深めるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活状態、表情、体調等、ケアプランの沿ったケアの様子等を記入し、スタッフ全員が個々の現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン変更時に本人、家族からの意見を聞くようにしている。しかし家族からの意見は少ない。スタッフ会ではアイデアを出し合い、介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護経過について記録し、スタッフ間で情報を共有しながら実践や見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の希望、実情に合わせ受診の対応等、可能な限り取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域ボランティアの方の協力により、お遍路接待、手芸教室、種々の行事を行うことができている。また、図書館を利用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医による2週間に一度の往診があり、事故、体調の変化があった場合はすぐ連絡が取れるようにしている。また、家族が他医療機関を希望する場合はその意向に沿うよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回の訪問看護師の来訪がある。看護日誌により身体状況の情報を報告、相談し、指示等を受けている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時、サマリーを作成し、情報交換や相談に努めている。病院関係者との関係作りは十分とは言えない。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ホームで対応できる範囲を説明し、その状態が近づいた場合、本人、家族、医師と十分に話し合い、可能な限り支援している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時、事故発生時の対応マニュアルを朝・夕復唱している。スタッフ会時には実践訓練を行っている。また、救急救命法の講習を消防署にて年1回受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災避難訓練は月1回、地震避難訓練は2カ月に1回実施している。地域の地区長に運営推進会議に出席していただき、協力をお願いしている。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせた言葉かけ、丁寧な言葉かけに気をつけ、プライバシーを損ねないような対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望を知り外出計画を立てたり、日々の中では買い物で欲しいものを選んだり、好きな飲み物を選ぶようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに合わせるよう心がけているが、職員側の都合が優先する時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望者には美容院でパーマをかけたり、白髪染めを行い、移動美容院でカットもしている。季節にあった服装になるよう声かけしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	準備はできる方のみになってきている。片付けはできるだけ行えるようスタッフと一緒にやっている。また、食事時の雰囲気作りにも心がけている。		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事摂取量の個々の確認、水分量の把握に努めている。個々により、随時水分の摂取に努めている。栄養バランスが取れるよう考えているが、専門家の意見は聞いていない。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	毎食後の口腔ケアを行っている。個々により、不十分なところを介助している。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	排泄チェック表を用い、一人ひとりのパターンの把握に努め、誘導、声かけを行っている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	便秘予防に飲食物の工夫、水分摂取に気をつけている。運動面で散歩に出たり、毎朝のラジオ体操へ参加して頂き、体を動かすように働きかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>できるだけ希望に合わせ、個人の状態によりタイミングを見計らっている。介助の必要な方が多いため、時間帯が決められてしまうことがある。夜間の入浴は自立のみの方に限られる。</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>思い思いに居室で休んだり、ホールでくつろいだりしている。その時の状態により、個々にゆっくり話を聞いたり対応をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>目的、副作用、用法、用量について分かるようにしているが、全スタッフが理解しているとは言えない。服薬についてはスタッフが毎回もチェックし、服薬している。様子観察に努め、症状の変化を確認している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの趣味、好みに合わせ、歌や外出等、気分転換を図れるよう工夫している。また、役割としてできることをして頂けるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日常的に散歩や買い物に出かけ、できるだけ戸外に出かけるようにしている。個々ではケアプランに沿って外出支援し、本人の希望に合わせている。また、家族にも協力して頂いている。ホーム全体で季節毎の外出も計画実行している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現金を使える方には買い物で自分で選び、支払いできるようにしている。持つことが無理な方は預かっている小遣いの中からスタッフが付き添い、見守りながら支払いできるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人からの希望がある場合、自分でできる方には自分でかけて頂き、できない方はスタッフが取次ぎしている。また、家族が遠方にいる方は、時々連絡がとれるよう気をつけている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用間づくりは季節感を取り入れた工夫をしている。できるだけ生花を飾るようにしている。また、音・光・温度などには配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	廊下に長椅子を置いて自由に過ごせるようにしているものの、ホール内では思い思いに過ごせるスペースがない。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	入所時、使い慣れたものをお願いして写真・飾り物など工夫しているが、家族によりできていない場合があり、その時はスタッフができるだけ工夫している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	浴室・個室・トイレ・廊下に必要に応じて手すりを設置している。トイレは居室近くにあり、自由に利用できる。自分の居室も分かるよう、名前・場所の表示をしている。		

V アウトカム項目		ユニット名： あさり	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域と事務所ができるだけ密着できる様な理念を挙げ、毎朝・夕の引継ぎ時に唱和している。また実践につながっているかは毎月1回のスタッフ会にて話し合い、反省をも含めている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の行事には積極的に参加している。(祭り・清掃・運動会・お遍路接待等)</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>2カ月に1回の広報を地域に配布し、理解をしていただけるよう努めている。小中高校の職場体験を受け入れ、理解や支援の方法を学習してもらっている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2カ月に1回の運営推進会議を実行し、利用者、家族、地域の方に事業所の運営等の報告を行い、意見や提案を聞かせていただき、実践につなげるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議時には必ず地域包括支援センターの方にも参加して頂き、意見等を聞かせてもらっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアを行っているが、すべてのスタッフがどこまでが身体拘束になるかを理解しているかは分からない。常に夜間以外は全ての鍵は掛けていない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加し、学んでいる。身体的虐待については入浴時、更衣時に確認をしている。精神的虐待についてははしてないつもりでも相手にとっては虐待と受け取っているかもしれないが、スタッフの態度や言葉遣いには注意をしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度を聞いたことはあるが、全スタッフが理解できているとは思われない。それらのアプローチは家族、管理者が行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な時間をかけて説明し、質問や疑問点を納得してもらえらるまで説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会等で意見交換を行い、また面会時にも意見を伺い家族や地域の方への意見箱を一階ホールに設けているが家族からの要望が出てこない。出た場合は反映できるよう努力しようと思う。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回のスタッフ会で意見を聞いているが内容により、反映させることのできないことがある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	条件の整備について代表者に意見を出すのが、聞き入れてもらえないのが現状である。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講演会、研修に参加する機会を設け、月1回のホーム研修も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	講演会、研修に参加時、意見交換を行ったりはしているが相互訪問等はない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入所時、家族や本人の今までの生活歴を伺い情報収集し、それにもとづき安心して生活が送れるような環境を確保するように努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	契約時に話を伺い、要望を聞き入れるように努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	入居時に家族・本人の意向を伺い、できる範囲でのサービスの対応に努めている。（医療関係）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の各場面で、利用者とスタッフが常に一緒に行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事業所の行事等に声かけ、参加をお願いするが入居当初のみで、家族によっては、遠のいていく難しい現状がある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域のスーパーに買い物に行ったり、帰りには実家の周辺を通過して帰居する。また、友人が訪ねてきてくれることもある。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	何を行うにしても皆とできることは一緒に協力して行えるように支援している。また、気の合う人と一緒に過ごせるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族に会えば声かけし様子を伺っている。また、入院中は見舞いに行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望を聞き、ケアプランに挙げ、困難な場合はスタッフ会等で再検討を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを行い、個々を理解するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々体調や、表情を見ながら過ごしていただき、状況の変化に応じケアプランにこだわらず柔軟に対応し、経過表にも残し、申し送っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランの見直し時々は、本人、家族に意見を伺い、それに基づきスタッフ会で話し合いを行い、プランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護経過を記録し申し送り、また、スタッフ連絡帳にも記入し共有しながら実践やプランの見直しにも活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の希望や家族の希望に応じ、できるだけ受診の対応等可能な限り取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域のボランティアの方の協力により、お遍路接待や手芸、折り紙、その他の行事を行うことができている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人または家族の希望により、かかりつけ医に受診したり、往診を受けている。その他の病院への受診は家族がほとんど行っている。家族が行けない場合はスタッフが同行している。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日の看護日誌に記録をとり、週1日の訪問看護を受け、利用者の身体状況を説明し適切な受診や看護を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時にはサマリーを作成し、面会時には情報交換は行っているが、関係作りは十分とは言えない。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ホームで対応できる範囲を入居時に説明し、その状態が近づいた場合、本人、家族、医師と十分に話し合い可能な限り支援している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	救急救命法の講習を消防署にて年1回受け、スタッフ会の際、実践訓練を行い、急変時、事故発生時の対応マニュアルを朝・夕申し送り時に唱和している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	2カ月に1回の運営推進会議の日に避難訓練を行い、また運営推進会議等でも地域の方に協力をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に合わせた言葉かけを行い、人格を尊重しプライバシーの確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話せる方に希望を伺い、言葉に表せない方については表情や態度から取り組み、無理強いはいしない。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り本人のペースに合わせ、横になって休みたい時には休んでもいただくように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みの服を着てもらい、入浴後には必ず髪を整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	力量に合わせてスタッフと一緒に食材の皮むき、切り、準備、片づけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材チェック表にて量を確認、毎月の体重測定でも変化に気をつけ、水分量が必要な方にはおやつ以外にも水分を摂ってもらい、体重増加が見られる方にはさりげなく量を減らす工夫をしているが、栄養バランスについては定かではない。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っており歯磨きが困難な方や不十分な方についてはスタッフが手伝っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用い、個々の排泄パターンに合わせ声かけ、誘導を行っている。また、夜間も声かけ、トイレ誘導を行っている。トイレへの訴えがあれば、その都度トイレ誘導を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩に出かけたり、毎朝のラジオ体操に参加し体を動かすようにしている。食事は普通食であるが、便秘の方にはなるべく水分を多く摂っていただくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	お風呂の好きな方には毎日入浴していただき、そうでない方は本人の希望に合わせて2日に1度の入浴をしている。また、本人が嫌がっている場合はスタッフを交代したり、時間を経て入浴してもらっており、無理強いはしていない。また、日中での入浴と定義している為か、時間帯への希望は聞かれていない。		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	思い思いのところで座り、昼間であっても眠くなったら、自ら自室で横になったり自由に過ごしている。夜間も眠くなったときに帰室するか、また言葉に出せない方は様子を見ながら自室に誘導し、休んでいただいている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	服薬の支援を行い、個々に内容や副作用が分かるようにしているが、全スタッフが理解しているとは思えない。特に、薬に変更があった場合は様子の観察をしっかりとるように努めている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	主にケアプランに基づき個々が協力し、掃除、洗濯干し・取り込み、調理を行い、好きなテレビやビデオを見たり、中にはパズルをする方もいる。また、遠足、花見、みかん狩り等に行くなど、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物や庭への散歩に出かけ、できるだけ外の空気を感じられるよう努め、また、行きたい所にあわせて四季の花の見学や地域のイベント、祭りにも行くなど、支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現金を持っている方は買い物時に自分で支払っている。預かっている方についてはその中から利用者自身に支払ってもらうこともある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望に応じて、自分で掛けてもらったり、自分でできない方にはスタッフが電話をして取り次いでいる。また、電話がかかってきた場合も取次ぎの支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は家庭的な設備となっており、その場にあった工夫もしている。音、光ともにその場その時に合わせるよう配慮している。ユニットは3階にあり、どこからでも庭や山を見て季節感を感じることができる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにはソファ、廊下には長いすを置き、一人で好きなどころでゆっくりと過ごし、また、リビングでは気の合う者同士が会話を楽しんだり、テレビやビデオを見てのんびり過ごしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していたタンスや鏡台を持ち込んでもらっている。また、孫の写真や家族の写真を置いたり、中には位牌を祭っている方もいる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>浴室、トイレ、廊下等に必要に応じて手すりがあり、流しの高さも利用者が使いやすいように配慮し、一人ひとりが意欲的に生活できるよう家事等もスタッフと一緒にしている。また、トイレや部屋には分かりやすく名前や場所の表示をしている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名：	サザエ
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない